

令和7年6月27日

福岡医療専門学校

校長 藤瀬 武 殿

学校関係者評価委員会

委員長 下迫 勇夫

学校関係者評価委員会報告

令和6年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

- 1 学校関係者評価委員会 委員 (五十音順 敬称略)

行徳 倫子	医療法人正明会 諸岡整形外科病院・クリニック 看護部管理者
下迫 勇夫	福岡医療専門学校 非常勤講師
宮城 徳久	鍼灸整体院サロン MiN 代表
山中 知愛	医療法人 西福岡病院 放射線科 科長
山本 亮	山本祐司・亮司法書士行政書士事務所
渡辺 淳一	(株) 堺整骨院西代表取締役 4期卒業生
- 2 学校関係者評価委員会の審議スケジュール
 - (1) 自己点検・自己評価報告書の書面審議 (令和6年度)
 - (2) 令和7年6月21日 (土) 学校関係者評価委員会開催
- 3 学校関係者評価委員会報告
別紙のとおり

以 上

I 重点目標

1 教育活動

- 令和年 6 年度の国家試験合格率は、柔道整復師が合格率 97.2%、はり師 97.7%、きゅう師 97.7%、理学療法士 100%、看護師 95.9%、診療放射線技師 97.1%であった。全資格が全国平均を大きく上回っており、特に理学療法士は全国 1 位であった。卒業年次の本校独自の国家試験対策に加え、入学次からの基礎教育への取組みが高い国家試験合格実績に反映している。
- 実践的な職業教育においては、医療機関と本校教員と医療機関とが密接に連携するとともに教育課程編成委員会等で外部委員からの意見や情報を共有し、学生にとって有意義な教育が行われている。
- 「退学者 0 (ゼロ)」の取り組みにより退学率は軽減しているが、更なる改善が望まれる。

2 実践的な職業教育

- 地域医療機関等と連携した教育課程を編成し、より実践的な職業教育の質の確保・向上に取り組んでいる。文部科学大臣が認定する職業実践専門課程の認定を受け、年 2 回、教育課程編成委員会を開催し、外部委員から貴重な現場の意見を集約している。
- 6 学科体制を活かした多職種連携教育を推進させるため、他学科と交流する活動を行った。
- 知識・技術だけでなく人間性についても重要視し、社会人としてのマナー、身だしなみ等を初年度教育で徹底して指導している。就職先等が求めるレベルに対応した人材を育成が大切である。

3 「退学者 0（ゼロ）」に向けた取組み

- 全校を挙げた取組みにより今年度の新入生の退学率は 低下しているが、さらなる改善が望まれる。多様化する教育指導に対応していく必要がある。
- 教職員において、更なる学生指導上の知識向上に努めるため、FD 研修や外部研修会への積極的な参加の継続を推奨している。

II 各評価項目

1 教育理念・目的・人材育成像

評価・意見	4段階 評価平均
○ 理念・目的・育成人材像は詳細かつ具体的に設定されている。定められた内容に対して教職員が一丸となって取り組んでいる。育成人材像については時代の変化に応じ柔軟に対応している。 ○ 「退学者 0(ゼロ)」の取組みを強化した結果、新入生の退学率の低減に繋がった。しかしながら医療現場からの意見として、適性がない学生について 見極めていく必要がある。「退学者 0(ゼロ)」の根拠や目的等を明確にしていく必要がある。 ○ 健康志向の高まりがある中、新設された「美容コース」学校の教育方針および医療現場のニーズに合致している。	4

2 学校運営

○ 運営方針は評議員会の意見を踏まえて理事会で決定する。運営方針に則り、毎週、開催される運営会議で運営状況を確認し、学科・分掌会議において具体的な方法が検討・実施されている。 ○ 学生の自主性を尊重した学内のルール改正がなされている。 ○ 館内照明の LED 化が完了しエコロジーへの取り組みも進んでいる。 ○ 少子化による学生減少に対する学生の確保と具体案を検討する必要がある。	3.4
--	-----

3 教育活動

○ 職業に関連した資格の取得に力が入れている。 ○ 新設された美容コースは社会のニーズに合っているが、資格取得後どのように活用できるのかが重要になる。卒業後に意味のない教育課程にならないよう留意しなければならない。 ○ 実施方針は適切に定められて教育されている。 ○ 教育課程は目標に沿い編成されている。	4
--	---

4 学修成果

○ 学修成果については、高学年、低学年の学力を把握するため、学習範囲に応じて国家試験形式の試験、実力試験、模擬試験等を計画的に実施した。その結果をもとに到達度、理解度を教員で共有し、授業や実習、補習等を工夫して学生の学習意欲や学力の向上が図れた。 ○ 卒業生の社会的評価を把握することは難しいが、校友会でその場として設定されている。 ○ 92%を超える高い就職率と、全国トップクラスの国家試験合格率があり就職、資格取得ともに十分な対策がなされている。学生個々の特性を明確にしながら就職のアドバイスがなされている。	4
--	---

5 学生支援

○ 就職・進路に関する支援や、学生相談、学生の経済面に対する支援は確立されているが、さらに努力する必要がある。多様化する教育環境において、スクールカウンセラーの配置も検討していくべきでは。精神的側面を強化する支援が退学者数、早期離職者数の低減にもつながる。現時点では附属クリニックの医師がその役割を担っている。 ○ 退学率の低減は図られているが、単に低減すればよいというわけではなく医療人としての教育について改善してもらいたい。学生の適正を見極めた対応も必要と考える。	3.3
--	-----

6 教育環境

○ 学外自習において、実習生は学内で細かい指導を受けており、実習内容等のチェックも的確である ○ 施設・設備など教育環境は非常に充実している。 ○ 防災面については教職員全員参加による訓練が行われている。 ○ 海外研修においてグローバルな視点を養うことを目的に実施することは、賛同できる。但し、その経験をどのように生かしていくかの資料があればさらに評価できる。	3.9
--	-----

7 学生の募集と受入れ

○ 入学試験については、オンライン入試や熊本・宮崎・沖縄にて県外入試を実施することで、受験生の利便性向上に努めている。 ○ 学生募集における SNS の活用などが積極的になされており若者のニーズにしっかりアプローチできている。 ○ 卒業生の職場等への学生募集に関する協力の依頼なども積極的に行われている。 ○ 早い時期からオープンキャンパスがなされており学生募集にも良い効果が表れている。	4
--	---

8 財 務

○ 適正な監査の実施、情報の公表ができています。	4
--	---

9 法令等の遵守

○ 法令等の遵守は適切である。 ○ 学校関係者評価委員会が開催され、公開されている自己点検・自己評価報告書を基に、活発な議論及び評価がなされている。	4
--	---

10 社会貢献・地域貢献

○ ボランティア活動については、福岡マラソンの救護活動に加え、高校野球や民間のスポーツイベントなど多岐にわたるボランティア活動に参加した。 ○ 社会貢献や地域貢献に関する活動支援は十分にできている。 ○ 海外研修による国際交流も活発に行われている。	4
--	---

まとめ

新委員を迎えての今年度の各評価項目は平均 3.76（4 段階評価）の高水準の結果であった。令和 6 年度の重点目標の 1 つにある「退学者 0(ゼロ)」に向けての教職員の取り組みには学校運営において高い評価ができる。次年度は新入生に限らず、2 年生以上の学生へのサポート体制の強化が今後の課題となる。教育活動においては、全科国家試験全員合格はもちろんであるが、知識・技術・人間性を備えた医療人材を育成への取り組みを継続し、質の高い医療従事者の育成を期待する。